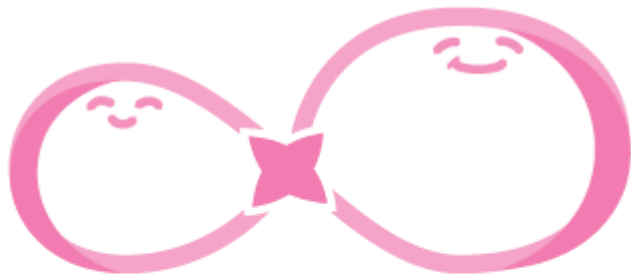


【資料1－1】



千葉市あんしんケアセンターの 公正・中立性の確保について



100年を生きる。
千葉市

目 的

あんしんケアセンターは担当圏域内において、指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）事業を行う者として独占的な立場にあるため、公正・中立性が求められる。

別添「あんしんケアセンターにおける介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務の公正・中立性評価基準」に基づき、調査を実施した。

1 調査対象

令和5年12月に、あんしんケアセンターが作成した介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントケアプランのうち、以下の①、②を利用した2,720件。

①「訪問介護相当サービス」及び「生活援助型訪問サービス」

②「通所介護相当サービス」、「ミニデイ型通所サービス」
及び「介護予防通所リハビリテーション」

2 調査方法

特定の事業者(法人)にサービスの利用が集中していないかどうか、上記の①・②における個々のサービス事業者の割合(占有率)について、あんしんケアセンターごとに時点評価及び期間評価を行う。

3 調査結果

(1) 時点評価 (7～9ページ 「表1」を参照)

<評価方法>

時点評価中「占有率の最大値」が50%を超える場合は、問題ありと推定する。

ア「訪問介護相当サービス」、「生活援助型訪問サービス」

⇒該当事業者はなし。

イ「通所介護相当サービス」、「ミニデイ型通所サービス」

及び「介護予防通所リハビリテーション」

⇒1件(真砂:51.5%)

該当があった「あんしんケアセンター真砂」にヒアリングを実施した。

【理由】 <前年度比較 43.6ポイント増（参考：R4 7.9%）>

- ① 圏域内に通所介護相当サービスを提供している事業所が3か所あり、ケアプラン作成時に、圏域外を含め利用者に対し案内している。
- ② 圏域外を含め複数の事業所を案内し、利用者自身が見学等を経て、事業所を決定している。
- ③ 対象事業所は、立地が良く、主たる利用者が要支援認定者のため利用者からの人気が高い。

上記より、正当な理由によるものと判断。

【表1 時点評価】…令和5年12月時点(単位:%)
 <中央区・花見川区>

種類	①訪問介護相当サービス 生活援助型訪問サービス			②通所介護相当サービス・ ミニデイ型通所サービス 介護予防通所リハビリテーション		
	占有率の最大値		関係法人の占有率	占有率の最大値		関係法人の占有率
	【%】	【件】		【%】	【件】	
弁天	27.3	9 / 33	0.0	31.7	20 / 63	31.7
中央	25.0	5 / 20	0.0	14.3	10 / 70	2.9
千葉寺	23.3	10 / 43	0.0	18.2	10 / 55	14.5
松ヶ丘	12.2	6 / 49	0.0	12.9	18 / 139	0.0
浜野	40.9	9 / 22	0.0	17.6	9 / 51	3.9
こてはし台	50.0	2 / 4	0.0	27.3	3 / 11	0.0
花見川	20.0	1 / 5	0.0	18.8	3 / 16	12.5
さつきが丘	45.7	21 / 46	0.0	14.1	14 / 99	2.0
にれの木台	33.3	4 / 12	0.0	24.4	11 / 45	0.0
花園	33.3	5 / 15	0.0	13.6	9 / 66	1.5
幕張	36.1	13 / 36	0.0	40.9	38 / 93	0.0

<稲毛区・若葉区>

種類	①訪問介護相当サービス 生活援助型訪問サービス			②通所介護相当サービス・ ミニデイ型通所サービス 介護予防通所リハビリテーション		
センター名	占有率の最大値		関係法人の占有率	占有率の最大値		関係法人の占有率
	【%】	【件】		【%】	【件】	
山王	28.4	19 / 67	0.0	11.8	17 / 144	5.6
園生	30.8	4 / 13	30.8	17.6	9 / 51	0.0
天台	24.1	7 / 29	0.0	18.6	11 / 59	5.1
小仲台	15.6	5 / 32	6.3	19.1	13 / 68	4.4
稲毛	30.8	4 / 13	0.0	14.7	10 / 68	0.0
みつわ台	14.3	3 / 21	0.0	24.4	20 / 82	2.4
都賀	30.8	8 / 26	0.0	18.9	14 / 74	0.0
桜木	14.6	6 / 41	2.4	18.0	18 / 100	1.0
千城台	16.7	4 / 24	0.0	12.7	8 / 63	0.0
大宮台	41.7	5 / 12	0.0	22.6	12 / 53	1.9

<緑区・美浜区>

種類	①訪問介護相当サービス 生活援助型訪問サービス			②通所介護相当サービス・ ミニデイ型通所サービス 介護予防通所リハビリテーション		
	占有率の最大値		関係法人の占有率	占有率の最大値		関係法人の占有率
	【%】	【件】		【%】	【件】	
鎌取	25.0	5 / 20	5.0	28.9	11 / 38	60.5
誉田	20.0	3 / 15	0.0	33.3	11 / 33	3.0
土気	22.7	10 / 44	0.0	33.6	39 / 116	0.0
真砂	33.3	8 / 24	0.0	<u>51.5</u>	17 / 33	0.0
磯辺	22.2	4 / 18	0.0	25.0	17 / 68	0.0
高洲	25.0	14 / 56	25.0	33.3	40 / 120	20.8
幸町	15.6	5 / 32	0.0	27.1	19 / 70	27.1
*関係法人の占有率が高くなっている箇所については、法人内で複数の事業所を運営している場合でその合計数のため						

(2) 期間評価 (12ページ 「表2」を参照)

<評価方法>

時点評価中「占有率の最大値」が判定基準数値30%を超え、かつ対前年度同月との差が30ポイント以上の場合は、問題ありと推定する。

ア「訪問介護相当サービス」、「生活援助型訪問サービス」

⇒該当事業者はなし。

イ「通所介護相当サービス」、「ミニデイ型通所サービス」

及び「介護予防通所リハビリテーション」

⇒1件 あんしんケアセンター真砂

R4 7.9% → R5 51.5% (43.6ポイント増)

該当があった「あんしんケアセンター真砂」にヒアリングを実施した。

【理由】 <前年度比較 43.6ポイント増（参考：R4 7.9%）>

- ① 圏域内に通所介護相当サービスを提供している事業所が3か所あり、ケアプラン作成時に、圏域外を含め利用者に対し案内している。
- ② 圏域外を含め複数の事業所を案内し、利用者自身が見学等を経て、事業所を決定している。
- ③ 対象事業所は、立地が良く、主たる利用者が要支援認定者のため利用者からの人気が高い。

上記より、正当な理由によるものと判断。

【表2 期間評価】(単位:%)

種類	①訪問介護相当サービス 生活援助型訪問サービス				②通所介護相当サービス・ ミニデイ型通所サービス 介護予防通所リハビリテーション			
	占有率の最大値				占有率の最大値			
	令和4年12月		令和5年12月		令和4年12月		令和5年12月	
センター名	【%】	【件】	【%】	【件】	【%】	【件】	【%】	【件】
弁天					36.4	24	31.7	20
浜野	40.9	9	40.9	9				
こてはし台	50.0	2	50.0	2				
さつきが丘	34.7	17	45.7	21				
にれの木台	42.9	6	33.3	4				
花園	25.0	6	33.3	5				
幕張	23.7	9	36.1	13	36.8	32	40.9	38
園生	22.2	4	30.8	4				
稲毛	28.6	4	30.8	4				
都賀	28.1	9	30.8	8				
大宮台	35.7	10	41.7	5				
誉田					26.7	8	33.3	11
土気					32.4	33	33.6	39
真砂	17.4	4	33.3	8	7.9	3	51.5	17
高洲					10.7	14	33.3	40

43.6ポイント増

※表2は、時点評価判定基準数値30%を超えたセンターについて記載。

4 調査の結論

**28か所のあんしんケアセンター全てにおいて、
公正・中立性は保たれている。**